修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

修学旅行の実態調査

東京の私立高校

東京私立中学高校協会（中島保俊会長）修学旅行調査会（新井福之助委員代表）では財団法人全国修学旅行研究協会（山本理事長）研究部（岩崎武夫部長）と共同で昭和四十七・八・九年度の都内私立高校の修学旅行実態と計画について調査を行っていたが、このほどその集計がまとまった。都内二百三十校のうち百二十六校が回答を寄せ、回答系は五四・％。日程は五泊六日と七泊八日が多く、また費用は私学の特徴を示しているように二万円から五万円を越える学校もあった。

九州方面が圧倒的

輸送にフェリーも登場

余裕のある三月に

修学旅行実施の有無

回答した学校百二十六校のうち「実施しない」は四十七、八年とも各四校。左のうち②③は進学のためかどうか理由が判然としない。

①実施した（する）　四十七年度＝一一七。四十八年度＝一〇七　四十九年度＝五二。
②実施しない　四十七年度＝二　四十八年度＝三。四十九年度＝〇
③やらないことにしている　四十七・八・九年度＝各四。
④未定　四十七年度＝〇。四十八年度＝五。四十九年度＝二一。
⑤記入なし　四十七年度＝三。四十八年度＝七。四十九年度＝四九。

実施の学年は

学校によっては二、三年合同、全校などもあるが、集計からみると二年生が多い。しかしその実施が三月であるところから実質的には三年生といってよいだろう。
【一年】四十七・八年度＝各〇　四十九年度＝二。
【二年】四十七年度＝六七。四十八年度＝六三。四十九年度＝二七。
【三年】四十七年度＝六。四十八年度＝五。四十九年度＝〇。
【その他】四十七年度＝六。四十八年度＝五。四十九年度〇。

実施の時期は

四十七年度＝四月一一。五月二四。六月一二。七月六。八月四。九月八。十月一八。十一月一九。十二・一月各〇。二月二。三月一三。
四十八年度＝四月一三。五月一一。六月一二。七月六。八月四。九月七。十月一一。十一月一九。十二・一月各〇。二月二。三月一〇。
これでみると依然として春秋が圧倒的に多い。しかし三月に実施する学校も相当にある。これはこの時期が引率教員や授業の面で比較的余裕があり、さらに一般の旅行シーズンではないため目的地がすいているためと思われる。

旅行の日程は

二泊三日から十泊十一日までいろいろあるが、五泊六日と七泊八日が大多数を占めている。年度別泊数別にみると次の通り。
四十七年度＝①五泊六日二九②七泊八日二八③六泊七日一八④八泊九日一五⑤四泊五日一二⑥八泊七日六（車中泊2）⑦九泊十日四⑧三泊四日二⑨二泊三日一⑩十泊九（車中泊2）一⑪十泊十一日一
四十八年度＝①七泊八日二五②五泊六日二〇③八泊九日一八④六泊七日一六⑤四泊五日一二⑥九泊十日五⑦三泊四日・十一泊十二日各二。

奈良コースも漸増

目的地はどこに

四十七年・八年度とも大別して九州方面が多い。しかし関西方面もしだいに増えてきているのは高松塚古墳の発掘などの影響によるものと思われる。さらに滞在型の奈良・大和路も漸増の傾向にある。
【四十七年度】
▼関西方面
関西一三。関西・四国一。関西・山陽一。関西南紀一。関西・北陸一。
▼九州方面
九州一周三三。北・中九州一一。関西・九州〇。関西・四国・九州〇。関西・北九州一。
▼中国方面
山陰一。山陽〇。山陽・山陰三。
山陽・北四国・山陰四。山陽・山陰・北陸三。
▼東北方面四。▼北海道一三▼北陸二▼四国二▼四国・山陽五。
【四十八年度】
▼関西方面
関西一四。関西・四国一。関西・山陽一。関西・南紀一。
▼九州方面
九州一周三一。北・中九州一五。関西・九州三。関西・四国・九州一。関西・北九州一。
▼中国方面
山陰一。山陽一。山陽・山陰五。山陽・山陰・北四国三。
▼東北方面二▼北海道一一▼北陸〇▼四国三▼四国・山陽一。

緑の学校研究会

長野県の主催で

長野県（西沢権一郎知事）では自然に恵まれた同県を校外教育の場として役立ててほしいと、七月三十一日から三日間、東京都内の私立中学校高校教諭三十二名を招いて緑の学校研究会を催した。
第一日は戸隠高原、野尻湖、木島平、野沢温泉、戸狩。第二日は信濃平、斑尾高原、飯山、白馬、八方尾根、栂尾。第三日は仁科三湖、穂高、松本などを視察した。なお全修協からは岩崎研究部長が参加した。

飛行機の利用校も

利用の交通機関

【四十七年度】
①新幹線四二②普通列車三七③団体専用列車一四④船五⑤カーフェリー四⑥バス三⑦飛行機一。
【四十八年度】
①新幹線三六②普通列車二七③団体専用列車一二④カーフェリー六⑤船五⑥バス三⑦飛行機〇。
前回の調査では出てこなかったカーフェリーや飛行機が登場している。

旅行費はいくら

旅行費は二万円から最高五万円くらいまでだが、四十七・八年度とも三万円―三万五千円が多い。金額別にみると―。
【四十七年度】
▽二万円―二万五千円一六▽二万五千円―三万円二六▽三万円―三万五千円二八▽三万五千円―四万円二〇▽四万円―四万五千円八▽四万五千円―五万円一▽五万円以上一。
【四十八年度】
▽二万円―二万五千円四▽二万五千円―三万円九▽三万円―三万五千円三▽三万五千円―四万円一七▽四万円―四万五千円一二▽四万五千円―五万円六▽五万円以上五。

ガイド・ブックは

ガイド・ブックは①学校独自で作った七三②市販のものを使った四三。このうち①②併用が一三ある。

学校側の意見

都道府県当局や交通機関、旅館などに対する希望や注文・感想をひろってみると―。
▽自治体に
○現地当局は一般的に親切で感謝したい○修学旅行用のガイド・ブックを作ってもらいたい○地元高校生との交流の機会がほしい○道路事情のニュースを流してほしい。県の案内図が実際と違っていて困った。
▽交通機関に
○バス・ガイドの質の向上を図ってほしい○定員以上の乗車、乗船はさけるように○金もうけ主義をやめて教育の一端を担っている心構えを持ってほしい。
▽旅館・みやげもの店に
○寝具は清潔に○契約後、料金や部屋数を変更しては困る○従業員の言葉づかい、服装、態度などの指導を○四国地区のよい旅館が修学旅行団体を拒否しているのは困る○食事の改善、郷土料理も加えてほしい。

盛夏お見舞い
申しあげます
昭和四十八年八月
財団法人
全国修学旅行研究協会
理事長　山本種一
役員一同
本部事務局
大阪事務所
名古屋分室
職員一同

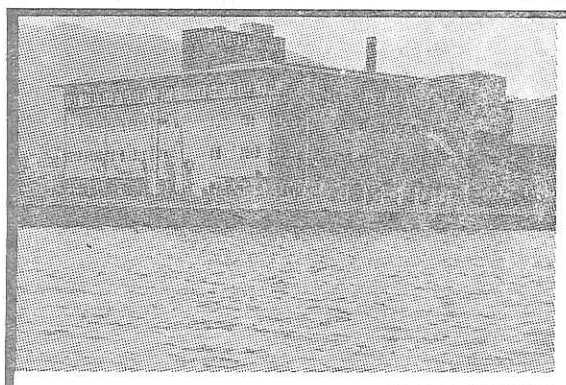
日本の旅　世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

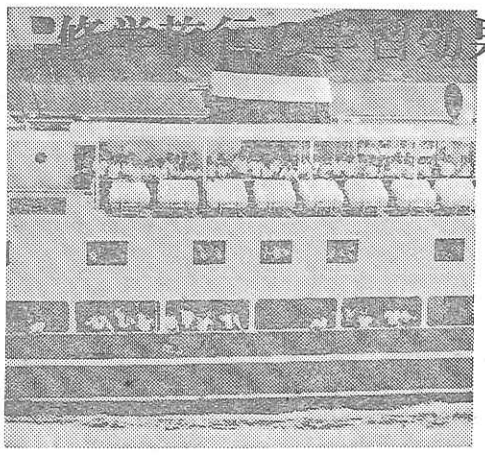
風紋

法人化する観光土産品取引協

全国観光土産品公正取引協議会（門倉国輝会長・日本商工会議所内）では法人化の手続きを完了、近く社団法人として新発足する。

八月六日のテレビは一瞬にして地上から消え去った当時の焦土の広島と原爆乙女たちのいたいたしい傷痕を伝え、悲惨な歴史を今更のように思いおこさせた▼敗戦をはっきりと国民に知らされたのは八月十五日で、この年は非常にむし暑い夏だったように思う▼われわれは、底知れない虚脱感をもって、崩壊してはじめて知った日本帝国の虚像の前に、茫然とたたずんでいた▼だが、日がたつにつれて、こんどこそ「新しい日本をつくろう、何もかも一かけからやり直そう」という国民の気力がさわやかに生まれてきた。苦しい中に何かしら民族の未来にかけた「のぞみ」がみんなの胸中に流れたものだった▼あれから二十八年、ことしもやはりむしろ暑い夏である。当時を、「さわやかな虚脱感」と表現するならば、ことしは「行きづまりの終末感」がただよう、明日にのぞみを持てない国民の気持だと対比する人もある▼七〇年代は地球受難の時代で、南北両極からじわじわと冷たくなって大気の流れが大きく乱れ、大雨干ばつなど、〝天変〟が続発する。この異常気象は人類に飢えの時代を迎えさせる▼目を国内に転じてみると、美しい母なる日本の風土は、公害大国、公害先進国の傷だらけの山河となり、その惨状は生々しく、ショッキングに、テレビ、ラジオ、新聞など、これでもかこれでもかとわれわれの視聴覚にせまってくる▼まったく〝終末〟なのかと思うのも無理からぬ気もするが、こうした脱れどころのないやりきれなさは、日本の若者の意識構造にも投影する▼この袋小路を脱出しようと人々は「旅」に出る。この暑い中を日本民族のおどろくべき移動エネルギーである。未曽有の旅行ブームの中で、われわれは何を求め、何を得なければならないのか▼日本列島と日本民族文化の美しいもの、よいものを再発見し、再建へのきっかけをつかむ旅としたいものである。


いらっしゃいませ
国定公園
近江路の旅へ
収容　800名様
食堂　550名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目1—4　電話　大津(0775)24—2321


果向上のために
全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

夏の研修旅行終了へ

緑を満喫した6千名

18コースで快適な旅

恒例・夏の教育界行事、全修協企画による第十七回教職員研修旅行は海外をふくめた十八コースでいっせいに行われた。

全国から参加した約六千名の教職員が七月二十一日出発の北海道Bコース第一団を皮切りに、ヨーロッパBコースの八月二十六日の帰着で幕を閉じる。

ことしは台風の影響もなく、みな思い思いのコースでそれぞれ研修旅行の旅をつづけ、青空のもとすんだ大気を存分に満喫した。

本年の夏季研修旅行の特色は、とくに教職員が教室で活用できるよう、自然・人文地理、歴史の研究を軸に、生物学・植物学なども加味した研修行事を豊富に組みいれたことである。

さらに研修旅行団という団体組織・運営を修学旅行実施のばあいにあてはめ、指導の参考にしてもらおうとのねらいもあり、また、山に海辺に、あるいは孤島と、脱公害や〝元気回復〟にも大きな役割りをはたした。

全修協では全国の教職員の要望にこたえ、本年度から三シーズン制を採用、すでに春三月には「南四国」「九州」「南近江・飛鳥路」の三コースで実施したが、冬季は十二月下旬にも行うことになり、近く企画の全貌を発表する。

日本海博ひらく　北陸の夢を展示　金沢市

【金沢】日本海時代のビジョンとその環境を紹介する日本海博覧会は石川県、富山県、福井県、金沢市などの主催で八月十八日から十月十四日まで金沢市で開かれる。会場面積は三十三万六千平方㍍三十館をこえるパビリオン、一万人の催物広場、プレイランド、世界の動物ランド、青い空の広場なども設けられる。

国際友情館ではソ連、中国、韓国、朝鮮をはじめ世界の姉妹都市を紹介するほか、わが国の全都道府県が参加する「四十七のふるさと館」、夢と年活の文化クラスターでは松下館、サンヨー館、東芝・三菱・日立の「でんき館」など産業界のトップを行く各社の展示館、北陸の未来館、同歴史館もけられる。期間中は毎日、にぎやかな催しものもある。

近江・奈良　大和路へ　秋の史跡見学旅行　大和文化会

大和文化会（近鉄東京支社内）の秋季史蹟見学旅行は九月二十日から同二十二日まで近江・奈良大和路およびその外縁部を南から北へ回わる。講師は国学院大学教授・文学博士樋口清之氏。会費は二万八千五百円。（参加は会員に限る）日程は次の通り。

▽九月二十日　東京―新大阪―四天王寺―河内長野・金剛寺・観心寺―奈良（泊）▽九月二十一日　奈良―石山寺―三井寺―近江宮跡―日吉神社―浜大津―彦根城―雄琴温泉（泊）▽九月二十二日　雄琴―堅田―延暦寺―詩仙堂―京都駅（解散）

写真コンクール

ことしもぜひご応募を

研修旅行参加者による写真コンクールはことしも募集中です。北海道コースには北海道知事賞に本年から北海道観光連盟賞が加わりにぎやかになりました。賞金の増額など改正を行ったこの写真コンクールにぜひご応募ください。応募規定は次の通り。

▽画材　研修旅行中に撮影されたもので、題材は自由。

▽サイズ　カラー、白黒を問わず、キャビネ以上（組み写真はご遠慮のこと）

▽締切り　昭和四十八年九月三十日。

▽審査と発表　昭和四十八年十月下旬、厳正な審査のうえ入賞作品を決定し、直接ご本人にご通知するとともに「修学旅行新聞」その他に発表します。

▽賞状と賞金・記念品　①推せん（一名）賞状と賞金一万円②特選（一名）賞状と賞金七千円③入選（五名）賞状と賞金三千円④佳作（二十名）賞状と記念品。

▼北海道知事賞（一名）賞状と記念品▼北海道観光連盟賞（一名）賞状と記念品。

▽その他　賞状、賞金、記念品は入賞作品のネガと引き換えにお送りします。入賞作品の版権は当協会に属します。また、プリントやネガはご返却いたしませんので必要な方はあらかじめプリントなどご作成おきください。ご応募には全参加者に配布した〝研修旅行ガイド〟に刷り込んである応募票を切り抜いて応募作品の裏面に貼って下さい。応募票がないときは適当な用紙に住所、氏名、参加コース名、題名を書いて作品の裏にお貼り願います。くわしいことは送り先きにご照会下さい。

▽送り先き　東京都千代田区西神田二―八―七（幅ビル）財団法人・全国修学旅行研究協会写真コンクール係。

研修旅行アルバム

能登・越前コース「永平寺」全修協白滝事務局長うつす

陸中海岸コース「碁石海岸」全修協早川広報部長うつす

奄美諸島コース「沖之永良部」全修協松野中央研修部員うつす

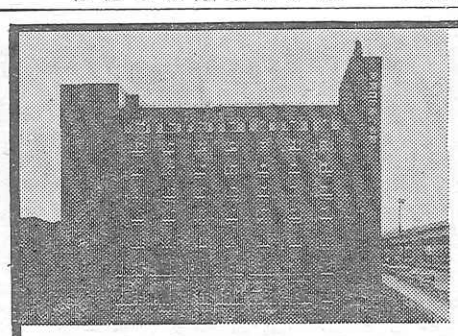
若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸（旅客定員 1,800名 3,000トン）

見ているだけで、心が大きく広がる海――
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。

●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講義用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店　東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

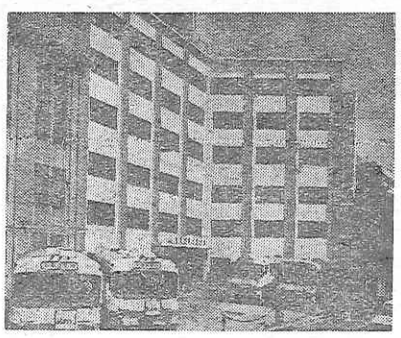
東京 コマ旅行会館

全国各地 小中高校 全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5（京都駅新幹線口の南西）
株式会社 教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539

修学旅行のご宿泊に……



■東京随一の環境・素晴しい展望
■交通至便・羽田から25分
■玄関前にバス15台の駐車場
■安全第一の諸設備完備
■清潔な調理場と快適な大食堂
■浄化装置の大小浴場

財団法人　修養団経営
東京青年文化会館
東京都渋谷区千駄谷4―25
電話 (403) 5111 (代表)